

聖書事業懇談会

参加
無料

どんな翻訳になるのですか？

いよいよ、新翻訳

「聖書 聖書協会共同訳」が

2018年12月に刊行予定！

—新しい聖書の特徴—

聖書協会と皆様との情報交換の場



千葉[市川]

大阪

【講演】

「聖書協会共同訳」はどんな翻訳聖書？

—ヨブ記など事例の紹介—

小友 聡 氏

新翻訳事業翻訳者兼編集委員
東京神学大学教授
日本基督教団中村町教会牧師



【日時】

2018年4月9日(月)

14:00～16:00(開場13:30)

【会場】山崎製パン企業年金基金会館

サンシティ 3F 陽光 千葉県市川市市川 1-3-14

▶JR 総武線市川駅徒歩2分(東京駅より総武線快速で約20分)
京成電鉄市川真間駅徒歩4分

【講演】

「聖書協会共同訳

—聖書翻訳から啓かれたこと—

飯 謙 氏

新翻訳事業翻訳者兼編集委員
神戸女学院大学
文学部総合文化学科教授



【日時】

2018年4月10日(火)

14:00～16:00(開場13:30)

【会場】大阪クリスチャンセンター

OCC ホール 大阪市中央区玉造 2-26-47

▶JR 環状線玉造駅徒歩10分
地下鉄長堀鶴見緑地線玉造駅徒歩5分

聖書事業懇談会は、皆様のご意見、ご提言を賜り、今後の活動に生かすべく、毎年春に実施しています。2018年は、千葉(市川)、大阪にて開催します。翻訳者、編集委員による講演を通して、2018年12月刊行予定の「聖書協会共同訳」の特徴を知ることができます。祈りをもってご期待いただき、みことばがより豊かに伝えられるよう、多くの皆様のご参加をお願いいたします。

詳細は追って当協会ウェブサイト(www.bible.or.jp)、SNSなどでお知らせします。

■問い合わせ：03-3567-1988(日本聖書協会広報担当)

■メール宛先：info@bible.or.jp

プログラム内容

- 講演
- 意見交換会
- 聖書協会報告

定員

各120人

事前登録制

当日来場の方には、新翻訳聖書がどのように変わるのか、よくわかる小冊子「聖書 聖書協会共同訳 一礼拝にふさわしい聖書を一特徴と実例」を一冊進呈いたします。

日本聖書協会
web サイト▶



主催 JBS 一般財団法人 日本聖書協会 〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1
TEL 03-3567-1988 FAX 03-3567-4436
後援・協力 恵泉書房 大阪キリスト教書店 大阪女学院 一般財団法人大阪クリスチャンセンター



小友 聡(おとも さとし) 氏

新翻訳事業翻訳者兼編集委員
東京神学大学教授 日本基督教団中村町教会牧師

東北大学文学部卒業。東京神学大学大学院修士課程修了。ドイツ・ベートル神学大学留学(博士課程)。日本基督教団大宮教会伝道師。日本基督教団大曲教会牧師を経て現職。専門分野は旧約聖書学。関連分野としてユダヤ教学、倫理学。研究テーマは旧約聖書およびユダヤ教の黙示思想、最終形態からの旧約解釈。『コヘレトの言葉』と黙示思想の関係、知恵の神学など。

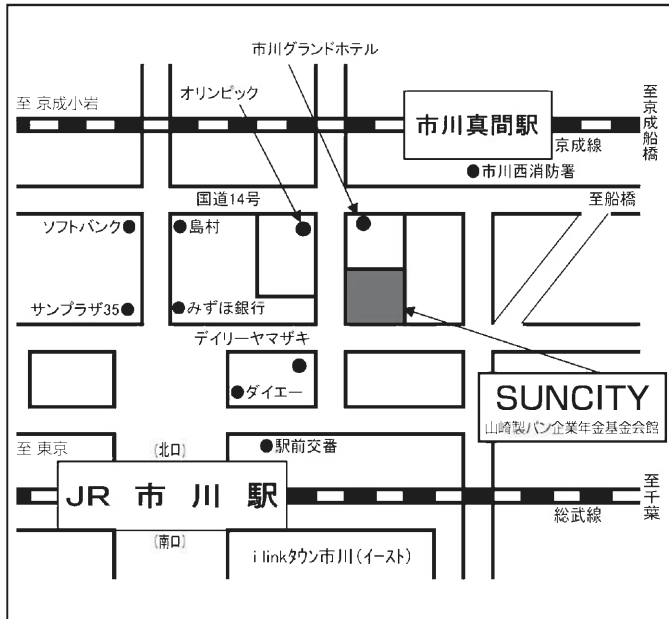
飯 謙(いい けん) 氏

新翻訳事業翻訳者兼編集委員
神戸女学院大学 文学部総合文化学科教授

1955年生まれ。明治学院大学社会学部卒業後、同志社大学神学部、同大学院博士課程前・後期課程、スイス・バーゼル大学神学部で学ぶ。
83年、神戸女学院大学に奉職し、現在文学部教授。2010年より聖書協会の翻訳事業に携わる。専門は旧約学。

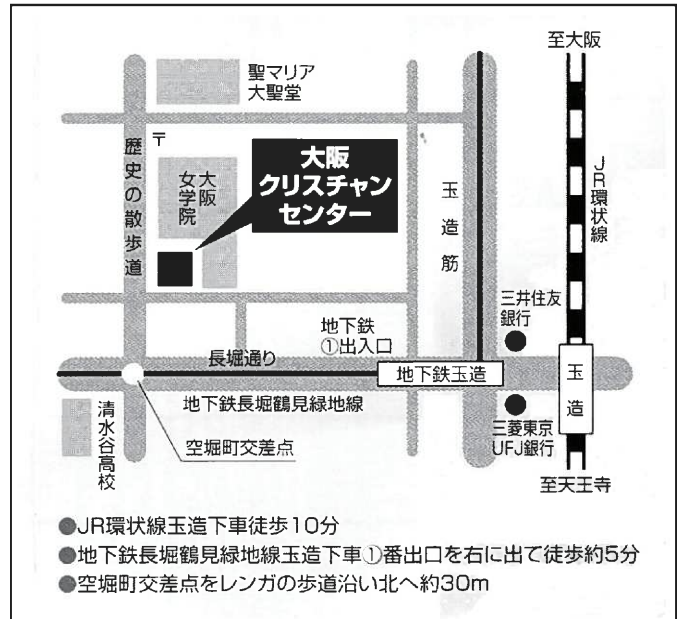
千葉会場 山崎製パン企業年金基金会館 サンシティ3F陽光

千葉県市川市市川1-3-14



大阪会場 大阪クリスチャンセンター OCCホール

大阪市中央区玉造2-26-47





▼ ▼ ▼ ファックスお申し込み先 03-3567-4436 ▼ ▼ ▼

4月9日(月)「聖書事業懇談会・千葉」申込書

4月10日(火)「聖書事業懇談会・大阪」申込書

申込締切 3月30日(金)

ご参加会場	千葉  ・ 大阪  ○をお付け下さい。		
お名前 ※お申し込みの方全員のお名前をお書き下さい。	代表者・フリガナ	フリガナ	フリガナ
ご住所 (整理券送付先。代表者のみで可)	(〒) ○をお付け下さい。 (学校・自宅・教会・団体)		
お電話	F A X		
ご所属団体			
E-mail			

※人数が4名以上の場合には別紙に全員のお名前をお書きください。Eメール(info@bible.or.jp)でも受け付けます。
代表者のご住所・お電話番号は必ずご記入ください。折り返し一括して整理券を郵送いたします。

ご記入いただいた情報は「個人情報保護法」に基づき当協会内で厳重に管理し、目的範囲内で適切に使用いたします。